

令和7年度 総合型クラブブロックサミット報告書（R7. 9. 14～15）

日 時：令和7年9月14日（日）～15日（月）

場 所：大森リゾートエリア 大森体育館（横手市）

○日程と内容

9月14日（日）	9：00～ 9：20	受付（大森体育館）
	9：20～ 9：30	開会行事（体育館内）
	9：30～10：30	i 「大森スポーツクラブさくら魅力発見ウォーク」① 大森体育館～大森スポーツエリア～大森公園を巡る
	10：30～10：40	休憩
	10：40～11：40	グループワーク① 「総合型クラブの『夢』実現プロジェクト」
	11：40～12：50	昼食休憩
	12：50～13：50	ii 実技交流「囲碁ボール・スカットボール」
	13：50～14：00	休憩
	14：00～17：00	iii グループワーク② 総合型クラブの『夢』実現プロジェクト」
9月15日（月）	9：15～ 9：30	受付
	9：30～11：30	iv 実技交流「スマイルボウリング」
	11：30～11：40	閉会行事

i 「大森スポーツクラブさくら魅力発見ウォーク」①大森体育館～大森スポーツエリア～大森公園を巡る



大森体育館前



隣接のゴルフ場



渡部氏からの説明の様子



人気のテニスコート

大森体育館玄関 → 体育館裏ランニングコース
→ テニスコート

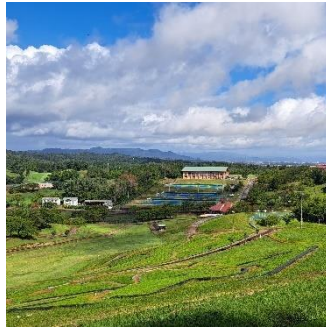
○大森体育館の玄関を出て、体育館と多目的広場の間にある駐車場を通り、体育館の裏手へ向かった。体育館は山の中腹にあり、隣接する羽後カントリー倶楽部のゴルフコースを見下ろすことができた。

○新設されて間もない12面のテニスコートへ向かった。そこで、大森スポーツクラブさくらの渡部理事長から、テニスコート新設までの経緯について説明を受けた。





管理する大森野球場



スキー場頂上より

大森リゾート村通り横断 → グランドゴルフ場脇
→ 野球場バックスリーン → スキー場頂上

○大森野球場の芝の質は、全県でも屈指と評価されている。芝の管理は、隣接する羽後カントリー倶楽部に業務委託しているとのことだった。ゴルフ場の芝の専門家が直接、育成から刈り取りまでを管理することで、この高品質な芝が保たれている。

大森城址（本丸）→ 大森神社 →
大森公園駐車場 → 大森公園通り →
大森体育館

○大森城址の本丸跡にある山下太郎顕彰碑の前で、集合写真を撮影した。また、本丸跡にある菖蒲池は、山頂に位置しているものの水が枯れておらず、今もなお湧き出ているその不思議さに参加者の関心を引いていた。



山下太郎顕彰碑前にて

ii 実技交流「囲碁ボール・スカットボール」



囲碁ボール



スカットボール



モルック



スマイルボウリング

実技交流のニュースポーツ

- ① 囲碁ボール
- ② スカットボール
- ③ スマイルボウリング
- ④ モルック

4種類のニュースポーツを体験

特に、美郷町総合型スポーツクラブの又井氏から紹介していただいた「囲碁ボール」は、初体験の参加者が多く、注目を浴びた。交点を狙って打つだけでなく、ボールの並べ方にゲーム性がある。



iii グループワーク②総合型クラブの『夢』実現プロジェクト」



伊藤恵造准教授によるグループワークの説明



大森 SC・美郷 SC・秋田大学の強みの紹介

○グループワーク

- ①グループワークの説明（伊藤恵造氏）
- ②各SC・秋田大の強み発表
- ③新事業起案のためのグループワーク
- ④各グループからのプレゼンテーション
- ⑤各グループの新事業の評価

伊藤恵造氏よりグループワークの進め方の説明と各グループで考えられた事業で実際に事業化する方向で検討することを伝えられた。

大森スポーツクラブさくらの伊藤氏、美郷町スポーツクラブの又井氏、秋田大学4年生の高橋さんより、それぞれの所属の強みについて紹介していただいた。



グループ A



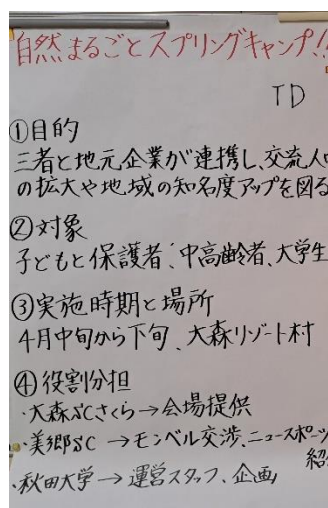
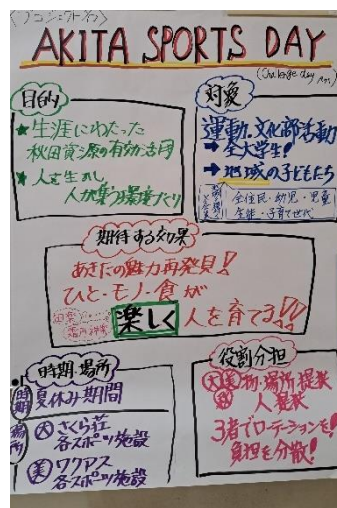
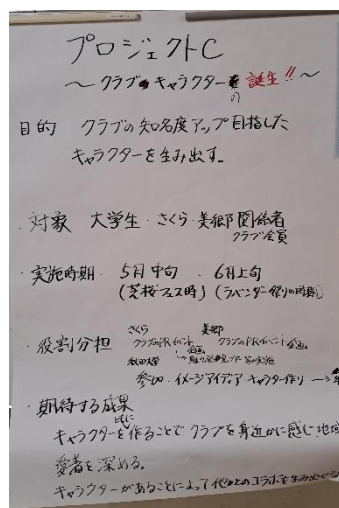
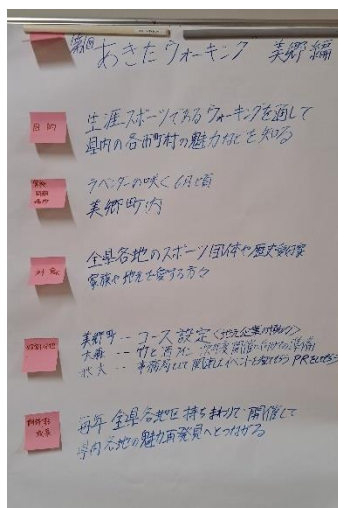
グループ B



グループ C



グループ D



○各グループの新事業のプレゼンテーション

- A 「あきたウォーキング 美郷編」 B 「プロジェクトC ~クラブキャラクター誕生~」
C 「AKITA SPORTS DAY」 D 「自然まるとスプリングキャンプ!!」

各グループの代表から新事業についてプレゼンテーションを行い、大森SCさくらの渡部卓氏と美郷町総合型SCの又井氏より各事業について講評を頂いた。両氏からは、継続して事業を行っていくためには、事業にかかる労力の視点から考えることも重要性であるという話があった。

iv 実技交流「スマイルボウリング」



スマイルボウリングの様子

○スマイルボウリング

4チームに分かれ、トーナメントによる交流大会を実施。

①行い方とルール説明（渡部 卓氏）

②準決勝（2試合）

③決勝、3・4位決定戦

④表彰

ボウラーとピンの間にあるゲートが、ゲームの行方を大きく左右していた。

次第に、参加者はゲートを通して左右に投げ分け、狙ったピンを倒していた。ゲーム後半になるとゲートが遠ざかるため、難易度が上がっていた。そのためピンを倒した際には、各チームは歓声を上げて喜んでいた。

○参加者の自由記述より

【実技体験について】

- ・ 事情の急変に伴う計画の変更は、やむをえないことと受け止め、対応したことには納得（満足）します。※大幅な時間の変更があったことは、見積り無理がなかったのか、想定は十分であったのか、など見直しが必要ではないでしょうか。加えて進行指示内容がより不明になり、動けない人、体験したくても体験出来なかった人が多くおりました。
- ・ グループ活動（分け）との繋がりも意識的に図ってもよかったのではないのでしょうか？
- ・ 地域の施設にスマイルボウリングはあるものの、自分が上手に出来ないため遠ざけていた。今回、皆さんとプレイして、教える自信がついた。出来なくても楽しむこと、それこそ大切な所を忘れていた気がしました。参加して良かったです。
- ・ いろんなニュースポーツがあって良かったです。
- ・ 時間はかかると思うが、対戦方法にすれば（ニュースポーツを）もっと楽しめると思いました。
- ・ ルールなどを説明する紙を配付するとよいかと思います。楽しくゲームできて良かったです。
- ・ 全ての実技で対戦したかった。
- ・ はじめはルールが難しいかも？と思いましたが、やってみるとすぐに理解できました。はじめて会った方とも一緒に楽しめました。
- ・ いろいろとニュースポーツもあって良かったです。できればローテで全て体験したかった。スカットをやらないうでしまいました。
- ・ 1日目の実技も対戦形式でやってみたかったです。2日目がとても楽しかったのです。

【グループワークについて】

- ・ワーキングの成果を向上させるために「引上げ」「実践」の説明がありました。（大森）渡部さん、（美郷）又井さん、（秋大）恵造先生方の「その後が見える化」させる事務局からの情報発信（広報）を期待します。
- ・「稼ぐ」という経済効果がクラブへのメリットの1つだとすれば、学生にとってのメリット（Win）についても大学と連携して創造することを、事務局も大人も参画する必要があると思っています。
- ・なかなかひさしぶりのワークショップでしたが、発表もあって勉強になる事ばかりでした。ワークショップや発表の見本も示してもらえれば、もっと良かったように思った。とても参考になりました。
- ・他地区、他県の動きも知りたい。
- ・若い方の会員がほしい。
- ・参加できて良かったです。ありがとうございました。

○担当者から

秋田県広域スポーツセンターは、総合型クラブや地域のスポーツ振興を担う団体の連携を図り、市町村や企業、関係団体等とのネットワークづくりや自立的な運営の促進に向けて支援を行っております。

今年度、4月に行われた市町村総合型クラブ担当者サミットと共に、新規事業として「総合型クラブブロックサミット」を行うこととしました。県北、県央、県南の総合型クラブを会場にサミットを行うことで、新たな交流を創出、総合型クラブが地域のスポーツ活性化、地域住民の健康増進、多世代交流、コミュニティ交流等の地域コミュニティの核となる支援になると思い計画いたしました。

今後も、総合型地域スポーツクラブが地域の中核的な存在として持続的に発展していくよう、多様な支援策を講じ、地域社会全体のスポーツ振興に貢献してまいります。